



『盈たして 進む』

1学期が終わりました

暑い熱い1学期でした。子ども達は一つ一つのイベントに一生懸命取り組み、しっかりとした足跡を残してくれました。保護者や地域の皆様もあらゆる場面でご協力いただき大変感謝しております。学期途中からコロナ対策に熱中症対策が加わり、子ども達も難しい生活を強いられることになりましたが、大きな事故・けがもなく無事に終業式を迎えられてホッとしています。

1学期は、のべ25名の『名人』が誕生しました。

あいさつ名人…6名 なかよし名人…8名 ありがとう名人…3名

ききかた名人…3名 みずから名人…4名 つづける名人…1名

終業式では、「名人は学校だけでなく、家庭や地域でも名人なんだよ。」と話しました。夏休み中もたくさんの名人が育つように、家庭や地域と協力していきたいと思えます。夏休み以降もよろしく願いいたします。



～ある雨の朝～

その日は、朝から雨が降ったりやんだりでした。私が学校を出るとき、雨は降っていませんでしたが、しばらく歩くとまた雨が降ってきました。すると、ある男の子が妹を自分の傘に入れて歩いていました。妹は、傘を持っていなかったようです。お兄ちゃんは傘からはみ出してちょっと濡れながらも妹を守ろうとしていました。その優しさに、胸がグッとくる思いでした。

この時だけでなく、4月から登校の様子を見ていて、手をつないで引っ張ってあげたり、重い荷物を持ってあげたり、盈進小学校のお兄ちゃんやお姉ちゃんは、いざというとき頼りになるし、優しいなあと思っていました。盈進小学校の良き伝統なのかもしれませんね。

～歩きやすいように～

ある日の朝、子ども達が歩く歩道がいつもよりすっきりとしていました。誰かが歩道の草を刈ってくださったようでした。草が伸びていたのは気になっていたの、「ありがたいなあ」と思いながら子ども達とあいさつをしていると、地域の方が刈払機を持って近づいて来られました。あいさつした後に話しかけたら、その方が刈ってくれたことが分かりました。

「草が伸びとっけん、子ども達が歩きにっかろう。じゃけん、刈ったたい。」ということでした。(お礼は伝えましたが、お名前を聞き忘れまして。大変失礼なことをしました。)

盈進地区には、このような優しい方がたくさんいらっしゃいます。学校や子ども達は、地域の方々に見守られ、支えられていることを改めて感じました。本当に感謝です。

